

研究課題名	劇症心筋炎の転帰および長期予後：FULLMOON 多施設後向き研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科救急集中治療医学 教授 志馬 伸朗
研究期間	2020年2月19日(倫理委員会承認後)～2025年3月31日
対象者	2008年1月1日から2018年7月1日の間に広島大学病院の救命センター・集中治療室に入院し、心筋炎による重度の心不全の管理を受けた患者さん
意義・目的	心筋炎は心筋の炎症性疾患であり、その原因は数多くあります。症状は、軽度の疲労や胸痛から、心臓が正常に機能せず非常に重篤で生命を脅かす状態まで、非常に多様です。本研究は中でも「劇症心筋炎」を対象とします。劇症心筋炎では、心臓の収縮性を改善するために薬物を必要とし、VA ECMO と呼ばれる一時的な体外循環補助などを要することもあります。この劇症心筋炎は稀であるため、現在、科学的データは非常に少なく、予後は十分に研究されていません。したがって、私たちは、短期的および長期的な予後を調べるために、劇症心筋炎を起こした患者の臨床情報を収集し、巨大なデータベースを構築したいと考えています。また、将来の劇症心筋炎患者の管理を改善する目的で、状態悪化についてのいくつかの予測因子を特定したいと考えています。
方法	電子カルテの情報より情報を収集します。収集患者情報には、患者背景、合併症、重症度スコア、血清学的、分子のおよび組織学的試験、エコーやMRIなどの画像検査結果、退院時や6ヵ月後の予後などが含まれます。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	サルペトリエール病院 (フランス) サルペトリエール病院に情報を集め (研究責任者 Dr Florent HUANG) 解析します。
試料・情報の管理責任者	

個人情報保護について

本内容につきましては、個人情報の保護に上公致意し、扱います。情報が個人を特定する形

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 Tel: 082-257-5456

広島大学病院 高度救命救急センター・集中治療部

(研究責任者) 教授 志馬 伸朗

(担当者) 准教授 大下 慎一郎 夜間休日診療医 菊谷 知也

研究機関：広島大学